

那覇国際高等学校

学校だより 第14号



アーチェリー九州3位!

女子



風が強かったが、方向やタイミングを見計らいながら集中して射て3位に入ることができたので、よかったです。今後は、団体ではより高い順位に、個人でも表彰台に登れるように部員全員で練習を頑張っていきたいです。

「九州新人アーチェリー大会」が10月22日に大分県にて実施され、本校アーチェリー部が団体3位になる快挙をとげました。また、個人戦では、30mラウンドで平良真野さん(1年6組)が3位、70mラウンドで仲村梨緒さん(2年1組)が5位、前里咲璃さん(2年8組)が9位になりました。すごいぞ、那覇国際高校!

女子個人2連覇! 男子団体戦4位!

バドミントン
新人大会



県高校新人体育大会のバドミントン競技が10月24日、男女シングルス決勝まで行われ、本校の吉田夏さん(2年7組)が決勝戦にて逆転で勝利をおさめ、2年連続の優勝となりました。また、団体戦では、男子バドミントン部が4位になる快挙をとげました。すごいぞ、那覇国際高校!

英語ディベート 県大会優勝!



英語で debate
ディベート
DEBATE

「第23回県高等学校英語ディベート大会」が10月13日に実施され、本校ディベート部Aチームが見事、優勝を果たしました。同チームは11月18・19日に佐賀県にて開催される九州大会に沖縄県代表として出場することが決まりました。

七人の審査員がいて、六人目まで3対3の同点で、最後の審査員で決まる!!というドキドキ感の中、「那覇国際高校」の名前が呼ばれ、皆で叫びながら喜びました。今後は、九州・全国大会に向けてレベルアップしていけるよう頑張ります。

Happy Halloween



ハロウィンの季節にちなんで、図書館では怖い本を集めて特集しています。さあ、図書館へ行こう! 新着図書もあるよ!

珠算競技 団体2位!



(左から)山城心愛さん 石塚璃央さん 前浜盛伊咲さん

文部科学省後援による「全日本通信珠算競技大会 沖縄県大会」が10月15日に実施され、本校の山城心愛さん(2年2組)、石塚璃央さん(1年7組)、前浜盛伊咲さん(2年9組)の3名が団体総合競技に出場し、見事、第2位に輝きました。3名は11月に開催される九州大会に県代表として出場することが決まりました。

PTA史跡巡り

「護佐丸・阿麻和利の乱に迫る史跡巡り」と題して、PTA文化研修部主催による「文化研修ツアー」が10月29日に実施されました。賀数仁然氏を講師として招き「座喜味城跡」「中城城跡」「勝連城跡」の3ヶ所を巡り、楽しく沖縄の歴史を学ぶ機会となりました。



今後の行事予定

- 11月
 - 3日(金) 文化の日(公休日)
 - 第3回大学別模試(3年希望者)
 - 進研総合学力テスト(1・2年必修)
 - 6月(月) 豊橋南高校来校(午前 2年9組)
 - 9日(木) EUがあなただの学校にやってくる(6・7校時 国際科)
 - 10日(金) 理系フィールドワーク(1年)
 - 16日(木) 芸術鑑賞(3~6校時)
 - 17日(金) ベトナム高校生来校
 - 18日(土) 全統プレ共通テスト(3年希望者)
 - 21日(火) 期末考査1日目
 - 22日(水) 期末考査2日目
 - 23日(木) 勤労感謝の日(公休日)
 - 24日(金) 期末考査3日目

名言・名句

I still don't think I have the fitting skills (to be the holder of the eight titles), so I need to continue improving.



八冠に見合った力があるかというまだまだなので、引き続き実力をつけていきたい。

【解説】

これは将棋の藤井聡太さんが10月12日に京都市で行われた王座戦で、永瀬王座を破り、将棋のすべてのタイトルを独占して八冠となったあとにインタビューで語った言葉である。



合格体験記 10 (上智大学 法学部法律学科 学校型推薦)



(1)この大学(学科)を選んだ理由

私はアメリカ留学中に難民センターでボランティアをしたことをきっかけに、難民の抱える諸問題に関心を抱き、法律や政治の側面から彼らに貢献したいと思い、法学部を選択しました。私は上智大学の他に中央大学からも合格を頂いていましたが、その上で私が上智大学を選択した一番大きな決め手は他大学とは異なる圧倒的グローバルな校風です。留学生や帰国子女が多いことから、異文化交流を身近に行えることに加え、至るところで外国語の会話が聞こえるという環境にとっても魅力を感じました。

(2)高校在学中の勉強方法について

1、2年の頃は学校から出される課題や毎週やってくる小テストに追われる毎日でした。私は数学がとても苦手だったので、課題や単元テストの勉強の際には賢い友人を捕まえて教えてもらうようにしていました。単語などの小テストは部活の帰りのモノレールやバスで単語帳を開いたり、アプリを活用したりしながら覚えるようにしていました。また、1年間のアメリカ留学が決定してからは英語の勉強に力を入れるようにしていました。

(3)後輩へのアドバイス

まず、受験期が本格的に始まる前に、真剣に自分の進路について考える時間を作ることを大切にしてほしいです。自分はどんな人間になりたいのか、そのためには大学に行く必要があるのか、そうであるならばどんな学問をどんな大学でしたいのか。それが明確になってきた頃に新しい選択肢も見えてくると思います。今の時代、一般受験命ではないですし、いかに真剣に考えて、真剣に取り組むかが望んだ進路を叶えられるかに繋がってくると思います。私でさえ真剣に活動して対策することで、格上の大学に合格することができました。皆さんが望んだ進路に進めることを願っています。